

香川大学地域人材共創センター リカレント専門講座の活動報告

香川大学 地域人材共創センター
大村隆史

香川大学地域人材共創センターは、地域との共創を通じて、広く地域社会の活性化・魅力向上に貢献できる人材を育成することにより、地域社会の持続的な発展に資することを目指しています。

地域人材共創センターとは

地域共創業務と生涯学習リカレント業務を中心に、「知」の拠点として、地域のニーズに応えとともに、文化、産業、医療、生涯学習などの振興に寄与することを目的に設置されました。

幅広い年齢層の皆さまの生涯学習を支援するために、地域と連携した学生参加型実践教育、グローバル人材育成、サテライトオフィス機能強化、大学間連携による実践型教育等を展開しています。

生涯学習リカレント業務

正課外の実業として実施されるもので、一般向けの公開講座・サテライトセミナーに加え、企業・社会人を対象としたリカレント専門講座を令和4年度から開講しています。

地域人材共創センターHP: <https://rhrd-center.kagawa-u.ac.jp/>

- ・公開講座
- ・サテライトセミナー
- ・リカレント専門講座



地域人材共創センターのHPはこちらの二次元コードから！

第4期の評価指標

社会人の学びの志向に円滑かつ機動的に応えるため、支援体制を組織的に整備し、各種の支援機能の強化・拡充を図り、社会人のワークキャリア・ライフキャリアの向上に資する多様なリカレント教育・リスクリテラシー教育を展開します。具体的には、リカレント専門講座の実施件数・受講者数を一定程度確保し、外部評価の実施と結果の公表が目指されています。

講座の特徴

【リカレント専門講座】

- ◆職業人の専門的知識・能力を高めることを目的とする講座です
- ◆企業・社会人の様々な志向に応じたリカレントプログラムを企画・提供しています。
- ◆コミュニティ形成による交流の輪の拡大、共同研究への発展も目指しています。
- ◆社会人受講生の科目等履修、大学院への進学などにつながるものを目指します。

【公開講座】

- ◆本学の教員が講師となり、本学で培った研究及び教育の成果を、地域に開放する講座です。
- ◆総合大学の特性を生かし、多様な受講生のニーズに応える様々な講座を提供しています。
- ◆一部の講座は、オンラインでの受講も可能としています。
- ◆学習意欲を喚起させ、学習者の次なる学びにつながる講座の提供を目指しています。

【サテライトセミナー】

- ◆県内のサテライトオフィスを会場に、講座を開催し、教育研究の成果を地域貢献の一環として自治体を通じて発信しています。
- ◆公開講座やリカレント専門講座で行う講座との接続を図ります。

[開講中のサテライトオフィス]

東かがわ市、三木町、三豊市
坂出市、まんのう町、土庄町などで
年間約40講座を実施

開催したリカレント専門講座一覧 (R4~R6)

タイトル(実施期間)	時間数・参加者数、対象者
ジオツーリズム・エキスパート養成講座 (2022.6.30~9.8)	13時間、34名、 ジオツーリズムを業務に活用したい方、関心のある方
香川県の農業・農村の未来を考える (2022.12.6~R5.1.31)	8時間、14名、 JA 香川県准組合員、かがわグリーン・ツーリズム及び農泊実践者、県内の協同組合の組合員、農業・農村に関心のある方
Kadai DX塾 (2023.2.10~2.17)	9時間、13名、 デジタル技術を用いた業務プロセス変革を目指す方、Microsoft365を用いた業務システム内製開発に興味がある方
アントレプレナーシップ入門講座(事業計画作成編) (2023.2.14~3.7)	11.5時間、9名、 20代後半~40代前半のビジネスパーソン(チームリーダー、主任、係長クラス)
ビッグデータ、AIによる現場の課題解決 (2023.3.7~3.17)	18時間、19名、 ビッグデータ、AIを業務に活用したい方、関心のある方
食品加工の基礎と応用 - 安全性から機能性まで - (2023.5.11~6.1)	12時間、9名、 食品製造や食品開発に従事している方、新しく始める技術者
グローバル視点を醸成し、地域からイノベーションを起こすマインドセットとデザイン思考を身につける (2023.5.12~7.26)	16時間、17名、 30代を中心としたビジネスパーソン、社会の変化に対応する術に関心を持つ方
アントレプレナーシップ入門講座(事業計画作成編) (2023.7.6~8.3)	15時間、4名、 20代後半から40代前半のビジネスパーソン(チームリーダー・主任・係長クラス)
アントレプレナーシップ入門講座(事業計画作成編) (2024.2.6~2.27)	15時間、6名、 20代後半から40代前半のビジネスパーソン(チームリーダー・主任・係長クラス)
瀬戸内のサステナブルな観光資源としての食(食文化)体験コンテンツを創造する (2024.2.1~3.7)	14時間、12名、 原則、全6回の講義に参加できる方、食にまつわる体験コンテンツを運営したい方
グローバル視点を醸成し、地域からイノベーションを起こすマインドセットとデザイン思考を身につける(2024.5.9~8.9)	19時間、21名、 30代を中心としたビジネスパーソン、社会の変化に対応する術の磨きに関心を持つ方
ジオ・ガストロノミーツーリズム・エキスパート養成講座 (2024.7.5~7.19)	12時間、8名、 ジオ・ガストロツーリズムを業務に活用したい方、あるいは関心のある方
アントレプレナーシップ入門講座 (2024.12.6~2025.1.25)	15時間、7名、 20代後半から40代前半のビジネスパーソン(チームリーダー・主任・係長クラス)
住民主体の観光地域づくり (2024.12.5~2025.1.16)	13時間、6名、 観光に関心のある人、地域づくりに関心のある人、過疎化・高齢化した地域の活性化に関心のある人

リカレント専門講座数と受講団体／受講者数など（R4～R6）

■ 年度別集計：講座数・参加企業・人数等別

年度	実施講座数	参加企業・団体総数	うち、複数名派遣社数	総募集定員	総受講者総数	定員充足率
R4年度	5講座	69社（団体含む）	14社（団体含む）	110人	91人	83%
R5年度	5講座	40社（団体含む）	6社（団体含む）	77人	48人	62%
R6年度	4講座	34社（団体含む）	6社（団体含む）	50人	46人	92%
総計	14講座	143社（団体含む）	26社（団体含む）	237人	185人	
年次平均値	4.9講座	47.6社（団体含む）		79.0人	61.6人	78.0%

数値以外の「成果」

【学内推進体制の強化】

R4年度から、「部局コーディネーター制度」を実施し、リカレント専門講座の担当講師とセンターとのつなぎ役を置いたことで、学内推進体制の強化を図った。

R7年度から、「部局コーディネーター制度」を発展的に解消し、従来のセンター委員が調整業務に取り組むことを規程に明記したうえで、新たに「企画調整チーム」を新設。リカレント専門講座の企画・提案について、調整や助言等を行い、質の向上などを図る。

【正規課程との接続可能性】

リカレント専門講座の受講生から、大学院への入学者が2名ほど輩出されている。

公開講座の形式をとる本学のリカレント専門講座が、高等教育を手軽かつ本格的に体験する機会として機能し、学習者のさらなる学習意欲を喚起することができている。

マイクロクレデンシャルとしての展開を進め、学習証明のあり方を柔軟かつ効果的なものにしていくことで、正規課程への接続可能性をさらに高めていくことが期待される。

【学習ニーズの調査検討】

各講座の受講者アンケートの集計と分析について、リカレント教育関連業務のDX推進として、情報部との協働により、ランニングコストの低い「リカレント専門講座データベースシステム」を導入した。

R7年度から、分析するデータの有効性を高めるために、受講者を対象とした事前・事後アンケートの義務化を実施している。